

道路愛称名登録制度 20の市道に愛称が付きました

身近な道路に、昔から由緒ある地名や歴史的な愛称、地域のシンボルとなつていている名称を付ける道路愛称名登録制度。この制度を活用して、20の道路の愛称名が決定しました。

問い合わせは 道路管理課
☎027-898-6822

道路愛称名登録制度は、地元地域への愛着を深め、文化や歴史を大切にしている地域づくりを目的に、市民から提案された道路の愛称名を公に設定するものです。対象となるのは、交差点から交差点までの通りや、地域のシンボルとなつていている坂などの前橋市道。今回は、5ヶ所の20の道路の愛称が決まりました。

■官宅通り
自然とこう呼ばれて来たんだ物語を受け継いでいきたいね

名前が紡ぎだすストーリー。愛称を付ける事で受け継がれていく物語がある。

「NHK大河ドラマ花燃ゆの放送が決まって、この通りの名前を改めて思い起こしたんだよね」

前橋に県庁が移る際、下村善太郎ら前橋の有志が、県令・捐取素彦との約束でここに官舎を建てたのが「官宅通り」と呼ばれる由来だ。

「子どもの頃は大蓮寺や熊野神社が遊び場で、そこを結ぶのが官宅通り。当時はすでに官舎はなかったんだけど、年配の方から由来は聞いて知っていた。名前が残るとき、そのストーリーも一緒に受け継がれていくんだよ」

大川 優さん 66歳
千代田町三丁目副自治会長
そば屋・大川屋本店 店主

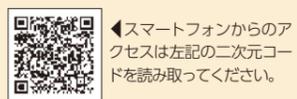
※官宅通りにて撮影

道路愛称名を提案するには

道路愛称名の提案には、その道路のある自治会の同意が必要です。そこで提案された愛称名は、官民有識者で構成する検討会と市長の公認の下、愛称名として登録します。詳しくは問い合わせてください。

●「さーちずまえばし」で位置確認

道路愛称名決定路線の位置は、「さーちずまえばし (http://searchizu-maebashi.geocloud.jp/webgis/)」から、地図上でご覧いただけます。また、市役所道路管理課、各支所・市民サービスセンターで、位置図などの資料が閲覧できます。



道路愛称名一覧

	地区	愛称名
1	天川大島町	原町はなみずき通り 街路樹にハナミズキが植えられていることから
2	下大島町	下大島西団地ハナミズキ通り 緑化協定にて環境美化に努めていることから
3	若宮町	才川通り 旧地名「才川町」から
4	表町一丁目	田町通り 旧町名「田町」から
5	表町一丁目	堀川通り 旧町名「堀川町」から
6	上泉町	伊勢守西通り・北通り・中央通り・南通り 地域の偉人・新陰流創始者「上泉伊勢守」から
7	幸塚町	桃ノ木川ラブリバー通り 河川保護活動を積極的に行っている「桃ノ木川」を愛するの意味から
8	幸塚町	幸塚中通り 幸塚町を東西に横断している主要道路のため
9	幸塚町	群大附中通り 赤城へ向かう群馬大附属中前の主要道路のため
10	堀越町堀下	長善寺通り 長善寺（市重要文化財）の参道から
11	堀越町堀下	堀下薬師通り 薬師如来（市重要文化財）と薬師堂から
12	堀越町堀下	堀越古墳通り 堀越古墳（県指定史跡）から
13	堀越町堀下	おんたけ坂 御嶽大神から
14	堀越町堀下	堀下絆すずかけ通り 大胡神社と地元植えられているスズカケの木から
15	南橋町	南橋公民館通り 公民館前の通りで地域住民の利便性向上のため
16	千代田町三丁目	弁天通り 大蓮寺（弁天様）から
17	千代田町三丁目	裏弁天通り 弁天通りに対して呼ばれていたことから
18	千代田町三丁目	おくまんさま通り 熊野神社の愛称から
19	千代田町三丁目	敷島座通り 明治時代、前橋文学館の場所に劇場「敷島座」があり、当時「敷島座通り」と呼ばれていたため
20	千代田町三丁目	官宅通り 下村善太郎らが建てた官舎があったため

3月1日(日)～7日(土) 春の火災予防運動

3月1日(日)から7日(土)まで、春の火災予防運動を実施。空気が乾燥し北風の強い日が続くと、火災が発生しやすくなります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

問い合わせは 消防局予防課 ☎027-220-4507

■防火チェック

①たばこの火はしっかり消す②ストーブは燃えやすい物の近くで使用しない③コンロから離れるときは必ず火を消す④コンセントは定期的に掃除する⑤住宅火災警報器を設置する

■放火防止対策

①家の周りを明るくする②家の周りに燃えやすいものを置かない③物置などは鍵をかける④新聞受けに新聞などをためない⑤ごみは指定された日時に出す⑥地域ぐるみで、放火防止に取り組む

■もし火災を発見したら

①周りに知らせる

大きな声や鍋などを叩いて周りに知らせてください。一人で何とかしようとせず、周囲の人の助けを借りましょう。小さな火でも119番に通報してください。

②消火器で初期消火

初期消火の目安は天井に火が届くまで。煙が広がってしまったら、無理をせずに避難してください。

③持ち物にこだわらず急いで避難

火災時の煙は有毒なガスを含んでいます。濡れたハンカチやタオルを鼻と口に当て、低い姿勢で、できるだけ早く家の外へ。また、一度避難したら、絶対に家の中へ戻らないでください。

■山火事を防ぎましょう

入山者が増加する春先は、たき火の不始末やたばこの投げ捨てなどによる山火事が多く発生しています。一人一人が注意して山火事を防ぎましょう。

■消防署のイベントや訓練

日時＝〈①火災防衛演習〉2月22日(日)午前10時～11時〈②消防ふれあい広場〉3月1日(日)午前9時30分～11時30分

会場＝①は市保健所②は中央消防署

内容＝②はミニ消防自動車乗車、子ども用制服・防火衣で記念撮影、消防車両展示、地震体験など